

～座学だけではない実践型財務研修～

自社データ活用で理解が深まる財務分析 & 中期5か年計画策定講座

研修のねらい

企業の財務データを最大限に活用し、未来を切り拓くための研修です。1日目は「過去会計」にフォーカスし、財務データの精緻な分析を通じて現状を的確に把握し、課題解決のための戦略を練り上げます。

2日目は「未来会計」にシフトし、中期5か年計画を策定、ビジョンを具体的な戦略プランに昇華させます。この研修を通じて、経営判断の質を飛躍的に向上させ、持続可能な成長を実現するための強力なスキルと知識を学びます。

研修のポイント

- ✓ 過去会計を学ぶことで財務データを分析し、現状を正確に把握するためのスキルを習得できます。
- ✓ 未来会計を学ぶことで中期5か年計画を立案し、戦略を明確化するためのスキルを習得できます。
- ✓ 実践的なアプローチにより、自社データ活用で実務スキルを習得できます。

研修期間

2025年
11/19^水・12/9^火
(2日間、12時間)

対象者

経営者・経営幹部

- ・ 経営に会計情報を活用したいと考えている方
- ・ 管理会計の基本を学びたい方

定員 20名

受講料 22,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13

大阪国際ビルディング

月日	時間	科目	内容
11/19 ^水	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	【基礎編】 ①財務諸表 ②財務分析	①会計の基礎を再認識し、 ②分析力と判断力を身に付け、 ③正しい限界利益の把握と、 ④資金の流れを読み解き、 ⑤未来の経営に活かす。
	13:40-16:40	【応用編】 ③損益分岐点 ④資金構造 ⑤経営計画	この①～⑤のステップを体系的に学習し財務会計を経営の味方につけるためのスキルを身に付けることを目的とします。

インターバル課題 過去3期分の財務データを入力

12/9 ^火	9:30-12:30	【実践編：定性】 定性分析 ビジョン作成 売上項目分析	自社データ(過去3期分)を活用して将来の中期5か年計画を策定します。定量的な数値計画だけではなく、自社分析やビジョンの作成など、定性的な内容にも踏み込むことで、より実践的な研修内容となっています。通常の座学とは違ったリアルなシミュレーションを体感できます。
	13:30-16:30	【実践編：定量】 5か年損益計画 5か年貸借計画 5か年資金繰り計画	
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：12時間20分

(特記事項) ・PC(OSはwindowsのみ)をご持参ください。※事前にソフトウェアをダウンロードしていただく必要があります。

講師紹介(敬称略)



税理士法人日本経営
トータルソリューション事業部 副部長

志村 元隆(しむらはるたか)

京都大学にてEMBAプログラムを履修。西日本を中心に、これまで零細企業から中堅企業まで100社以上の多様な業種の中小企業支援に携わる。財務会計・管理会計の支援、補助金計画策定はもちろんのこと、企業の根幹となる中期経営計画の策定を数多く手掛けてきた。近年はクラウド経営支援ツール「bixid」も積極的に活用し、データに基づいた実践的な経営助言(MAS業務)を展開。「顧客の持続発展を支援する」を信条に、クライアントに寄り添い続ける姿勢が厚い信頼を得ている。今回の『自社データ活用で理解が深まる財務分析&中期5か年計画策定講座』では、豊富な支援実績に基づき、自社のリアルな数値を読み解き、明日からの経営に活かすための財務分析、そして未来を切り拓く中期5か年計画の策定手法を分かりやすく解説する。